

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名	No. 620502	消防団運営管理事業				主管課名	防災安全課			
	この事務事業の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	廣瀬 邦仁			
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち								
		基本事業	消防の充実								
(1)事業の概要											
消防団の運営管理に必要な費用 ・人件費（報酬、退職報償金、公務災害負担金） ・災害時出動・訓練手当 ・被服費 ・分団及び女性消防団運営費交付金						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
						名 称		単 位			
						消防団分団数		分団			
						その指標					
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		消防団活動に必要な被服の貸与、団員報酬や出動・訓練手当の支払い、各種研修等の実施									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
消防団員						名 称		単 位			
						消防団員実数		人			
						その指標					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
防火、防災活動が速やかにできる。						名 称		単 位			
						訓練参加延べ人数		人			
						その指標					
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
生命と財産を守る。						名 称		単 位			
						消防団員実数		人			
						火災発生件数		件			
						消防水利設置数		ヶ所			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		分団	15	15	15	15	15	15			
(6)の対象指標		人	368	359	360	360	360	360			
(7)の成果指標		人	4,198	6,546	5,000	5,000	5,000	5,000			
(8)の結果の成果指標		人	368	359	360	360	360	360			
		件	36	31	20	20	20	20			
		ヶ所	788	789	788	788	788	788			
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目 01
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	41,430	41,478	46,260	59,420	59,211	62,914			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	203	110	1,610			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	19,087	18,833	29,235	29,235	29,235	29,280			
	一般財源	千円	22,343	22,645	17,025	29,982	29,866	32,024			
人件費B		千円	4,721	5,761	5,761	5,761	5,761	5,761			
正職員従事時間×人数		時間×人	400×3	500×3	500×3	500×3	500×3	500×3			
正職員以外の人件費		千円	200	200	200	200	200	200			
その他費用C		千円	1,410	970	600	600	600	600			
トータルコストA+B+C		千円	47,561	48,209	52,621	65,781	65,572	69,275			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	129	134	146	183	182	192			
		千円/									
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 620502 消防団運営管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和23年 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 社会情勢の変化により、消防団員の新規採用が難しくなっており、また、消防団のあり方について検討すべきであるとの意見も出ている。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 消防組織法に基づき、消防団を整備した。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している → 変化した内容 消防団員の確保が難しくなっている。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 消防組織法 この事務を行う根拠又は理由 消防組織法により、消防団の設置は市が行うこととなっている。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容 災害の発生件数によるため。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性 ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	分団員数や管轄区域など、消防組織の見直しや強化策を策定していく。消防団の装備の基準が改正され、安全確保対策、救助用器具、情報通信機器等の整備について一層の充実を図る必要がある。また、費用弁償が近隣の市と比べ低いため、見直ししていく。団員報酬についても近隣と比べ低いため、検討していく必要がある。					